



職業感染って知っていますか？

医療従事者が職務中に、さまざまな感染症に罹患した場合を「**職業感染**」といいます。医療従事者は、様々な感染症患者や易感染者と接する機会が多く、患者から感染を受けたり、患者に対して感染源となる可能性があります。感染を知らないままに感染期間に業務を続けた場合、患者や他の医療従事者へ感染を拡大させる場合もあります。

B型肝炎や流行性ウイルス疾患と言われる、麻疹（はしか）、風疹（三日はしか）、水痘（水ぼうそう）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、抗体を持っていることで感染を予防することができます。当院では、自身の抗体価の把握のために、入職時に「**抗体価カード**」を配布しています。自身の抗体価を確認し、記載し携帯してください。抗体がない場合は、患者さん、自分自身、自分の家族を守るために、抗体を持っておくこととお勧めします。

抗体価個人カード									
☆このカードは血液・体液曝露事故時や流行性ウイルス疾患発生時に正しく、速やかに対応するために配布するものです。各個人で名札ケースの中に入れて大切に保管してください。									
☆各自記載し内容に変化があった場合は各自記入をお願いします。									
検査方法と基準を満たす陽性値									
B型肝炎		麻疹		風疹		水痘		ムンプス	
検査方法	陽性基準値	検査方法	陽性基準値	検査方法	陽性基準値	検査方法	陽性基準値	検査方法	陽性基準値
	10.0以上	EIA法	16.0以上	EIA法	8.0以上	EIA法	4.0以上	EIA法	4.0以上

氏名:	ID:			
	明らかな罹患歴	ワクチン接種日	検査日抗体価	検査日抗体価
B型肝炎	/ /	/ /	/ /	/ /
麻疹	/ /	/ /	/ /	/ /
風疹	/ /	/ /	/ /	/ /
水痘	/ /	/ /	/ /	/ /
ムンプス	/ /	/ /	/ /	/ /



文責：感染管理CN 船原初美

テープ皮膚障害とは

「**テープ負け**」という言葉、医療従事者および患者さんより聞くことがあります。一般的には、①の画像のように貼付面全体が紅斑(発赤)となることを指します。

しかし、多くは②にあるような、テープ貼付部位の辺縁に水疱形成している状況もまれではありません。これは、テープを辺縁から辺縁へ貼付し、テープの物理的刺激(引っ張り・摩擦)により「**緊張性水疱**」となっています。高齢であったり、ステロイド内服中など、紅斑・紫斑となるリスクの高い脆弱な皮膚の方にみられます。テープは貼付の仕方、水疱などの皮膚障害を予防できることもありますので、皆さん、テープは中央から端へ貼付すること(圧迫止血が必要な時は例外)を原則に、剥がすときも優しく愛護的に、必要時は剥離剤を使用してください。



文責：皮膚・排泄ケアCN 松北直美